

授業料等を不徴収とする部局間学生交流協定に基づく ハイデルベルク大学への派遣留学生募集要項 (2026年10月出発分)

Heidelberg Centre for Transcultural Studies, Heidelberg University へ2026年10月から留学する派遣留学生を、以下のとおり募集する。

ここでいう派遣留学生とは、授業料等を不徴収とする Heidelberg Centre for Transcultural Studies, Heidelberg University と京都大学文学部・文学研究科との部局間学生交流協定に基づいて、本学の学部又は大学院に在籍しつつ、1学期以上1年以内の予定で教育を受けて単位を取得する又は研究指導を受ける交換留学生をいう。

1. 応募資格

- ①文学部・文学研究科正規課程に在籍する者
- ②留学期間が1学期以上1年以内の者
- ③休学することなく留学する者（本学の授業料は納め、留学先での授業料等は徴収されない。）
- ④派遣先大学の応募資格を有する者

2. 募集人員 2名

3. 必要語学 英語・ドイツ語

4. 応募書類等（文学部内選考用） ①申請書は文学研究科の HP「留学情報」のページより「部局間交流協定申請書」をダウンロードすること。

- ①申請書（様式1-1, 1-2）
- ②成績証明書・学部1年から現在まで（和文・原本）
- ③語学力証明書
 - 1) 英語力に関する公的な証明書（TOEFL iBT または IELTS）
 - 2) ドイツ語力に関する公的な証明書や、ドイツ語の履修歴と関連の成績証明書を提出可能な者は、併せて提出すること。
(◎ハイデルベルク大学では、英語で提供される授業のみによって、一般的に取得される程度の数の単位の取得が可能である。したがって、応募時点でドイツ語能力を有することは必ずしも必要でない。ただし、ドイツでの生活の便宜上、留学時点で少なくとも初級程度のドイツ語能力を持つことが望ましい。)

(注) 文学部内での選考により出願が許可された者は、ハイデルベルク大学への出願書類（申請書、履歴書、志望理由書等）を京都大学文学部を通じて提出することになる。

5. 募集締切

令和7年10月7日（火）17時厳守
提出先：文学研究科教務掛
提出様式：全て紙媒体にて申請すること

6. 選考・採否の決定

応募書類により文学研究科内で選考（必要に応じ面接）を行い、10月下旬頃に通知する。

被推薦者は決定後ハイデルベルク大学への出願書類（4.（注）参照）を提出しなければならない。

なお、最終的な留学の可否は相手校が決定するので、学内選考に通っても必ず留学できるとは限らない。

7. 留学後の報告

派遣学生は帰国後、所定の「報告書」（様式2-1, 2-2）を速やかに提出すること。

8. その他

- 派遣学生は、派遣先で単位を取得し、帰国後、単位互換認定を受けることが期待されている。
- 派遣学生は、出発までに必ず救援費・治療費が無制限の海外旅行保険等に加入すること。
- 出発までに KULASIS から「海外渡航情報」を登録すること。

問い合わせ先：

文学研究科・留学生担当教員

海田大輔

Email: kaida.daisuke.5n@kyoto-u.ac.jp